

会 議 録

会議名	山陽小野田市図書館協議会		
開催日時	平成30年2月9日（金）午前10時から12時		
開催場所	山陽小野田市立中央図書館 第1会議室		
出席者	笹村正三委員、城戸邦之委員、若山さやか委員、橋本慎二委員 梅津弘美委員、中村明美委員、山本桂子委員、香川真澄委員		
欠席者	川上富士子委員	委員数	9人
		出席者数	8人
		欠席者数	1人
事務担当課 及び職員	宮内茂則教育長 社会教育課 臼井補佐 中央図書館 山本館長、井上副館長、銭谷主任 厚狭図書館 渡邊副館長		6人
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 辞令交付 2 教育長あいさつ 3 委員紹介、職員紹介 4 正副会長の選出 議事 <ol style="list-style-type: none"> 5 平成29年度事業報告について 報告(1) 中央図書館の事業報告について (2) 厚狭図書館の事業報告について 6 平成30年度事業について (1) 重点目標、活動方針について 7 報告 子ども読書活動推進計画（第三次計画）（案）について 8 その他 		
会議結果	<p>○事務局より、山陽小野田市図書館協議会規則第3条第2項の規定により図書館協議会の会議の成立を報告。</p> <p>○議事</p> <p>平成29年度事業報告について</p> <p>事務局から、平成29年度中央図書館、厚狭図書館の事業経過について報告。</p> <p>質疑事項</p> <p>委員：来館者が平成27年度増加、児童書が28年度増加している理由は。</p> <p>事務局：特に厚狭図書館のリニューアルが反映。</p> <p>委員：バリアフリー映画会について本数は。</p> <p>事務局：本数は少ないが、上映作品は人気のある作品を選定した。</p> <p>委員：バリアフリー映画は字幕に加え、情景説明も加わっており、聴</p>		

覚障がい者だけでなく、視覚障がい者も楽しめる。

委員：厚狭図書館主催の音読茶房はどのようなものか。

事務局：図書館職員が選んだ物語の一部、詩の一節などを声を出して読む。手話もある。健康だけでなく、出かけるきっかけづくりをして独居高齢者同士のつながりも目的としている。希望者が多く、2回にわけて行っている。高齢化が進むので高齢者向けの事業を考えていく必要がある。

委員：独居老人への宅配について。

事務局：厚狭図書館では社会福祉協議会のボランティアが定期的に配達している。利用者は固定している。

委員：児童書貸出数が伸びているが、団体貸出も多く、読み聞かせボランティアで絵本を借りたくても時季のものが長期間貸出されていない。冊数を増やして欲しい。

事務局：他市町では、団体貸出用、個人貸出用に蔵書を分けている。現在、団体貸出用の本を少しずつ増やしている。出前図書館で、幼稚園、保育園などへの貸し出しも増加しているので、少しずつ充実させていきたいが、資料費が少なく充分ではない。

平成30年度重点目標について

事務局より平成30年度の重点目標（案）、活動方針（案）（中央図書館・厚狭図書館）について説明。

委員：平成30年4月より、山口東京理科大学薬学部が開設するのでサイエンス・カフェも薬学に関するテーマが加わる可能性がある。

委員：歴史民俗資料館について、今年度図書館フェスティバルに参加し、これまででない年齢層の人が来館し有意義だった。図書館内で企画展と連動させた展示コーナーの設置、関連本のコーナーも活用している。

事務局：図書館にはない歴史民俗資料館の所蔵している「もの」を見てもらうのも大事と思っている。

委員：詩カフェなど運営はどうなっているのか。

事務局：図書館主催のものと、創発会議主催のものがある。カフェの形にして楽しんで参加してもらっている。

委員：利用者が選書に加わることはあるか。

事務局：厚狭図書館では子ども選書会、中央図書館ではティーンズ選書会を行った。一般向けは実施していない。

委員：リクエストについて。

事務局：市内に所蔵がない場合はなるべく購入しているが、購入できない場合は、まず、県内の図書館（送料負担無し）、中国5県（片道送料図書館負担）それ以外（往復送料図書館負担）国会図書館（館内閲覧のみ）高価なものは、県立図書館にリクエストして希望に応じている。

委員：複本について。

事務局：複本は基本的に購入はしないが、人気の本など中央図書館と厚狭図書館で1冊ずつ所蔵している場合もある。

委員：従来の図書館にはないたくさんの良いイベントをしているのでもっと周知して欲しい。

事務局：効果的な広報を考えている。「広報さんようおのだ」15日号に図書館用の1ページがあり、影響が大きい。スペースに制限があるので、掲載できない定期的なイベントを広めていくことが課題。

委員：紙芝居、大型絵本が複数館が分散して所蔵しているので予約が頼みづらい。

事務局：リストの作成を検討する。

子ども読書活動推進計画（第三次計画）（案）について事務局より報告。

委員：策定委員会に委員として参加したが、内容は、既存の事業だけに留まらず、また、委員の意見が反映されている。

委員：学校司書との連携について

事務局：学校出前図書館の打ち合わせや夏休みの「図書館で自由研究、GO!」、図書館での研修会、また、放課後、図書館に寄って貸出や相談等によく来られている。

委員：学校司書の異動について。

事務局：臨時職員であり、基本は3年ごとに異動する。経験の差もあり、公平性を図るため。

委員：学校で希望図書が重ならないか。

事務局：集中する。学校司書の活動が活発なので、予算を確保し、資料を増やしていきたい。

以上